

- **通信総合研究所 情報通信研究の産学官連携の加速に向けた体制強化**
—「けいはんな」における産学官連携オープンラボの整備と民間から情報通信部門長を登用 —

- 平成14年7月23日
-

独立行政法人通信総合研究所(以下CRL。理事長:飯田尚志)は、これまでの電波・光の研究の成果を生かしつつ、情報通信に関する総合的な研究開発を中心として先端的な研究開発を推進している。この度、同研究所は情報通信基盤技術の研究開発にあたって産学官の連携を一層強化することを目的として産学官連携オープンラボを設置するとともに民間からの情報通信部門長の登用を実施する。

1. 「けいはんな」における産学官連携オープンラボの設置

CRLは、産学官が連携した地域のIT研究開発を推進するため、研究開発環境を備えたオープンラボを、関西文化学術研究都市(けいはんな精華・西木津地区)にあるCRLけいはんな情報通信融合研究センター(以下、CRLけいはんな、センター長:中山治人)に整備をすすめている(図1)。このオープンラボでは、高機能ネットワーク技術の研究環境を備え、大学、通信・放送事業者、メーカー、研究機関、ベンチャー企業、地方自治体等に開放し、研究開発を行うとともに、専門家の育成等を併せた人材の育成等を行っていく予定である(図2)。今回、オープンラボ施設を有効に活用するために、幅広い活用の仕組みの構築をめざして現地産業界・公的機関等との準備協議を開始した。

2. 民間企業から情報通信部門長を登用

CRLは、「けいはんな」における産学官連携オープンラボの運用などに中核的な役割をはたすCRL情報通信部門の部門長に民間企業から、蓮池和夫氏(51歳、前 国際電気通信基礎技術研究所(ATR)適応コミュニケーション研究所第一研究室長、元KDDI先端技術ビジネス推進部担当部長)を充てる人事を平成14年7月23日に発令した。同氏は、学会活動のみならず、国内外通信標準化及び民間企業における情報通信システム開発にも業績をあげており、同氏のもとでCRLの通信分野の研究開発における産学官連携の加速を図ることとしている。さらに、CRLの無線通信部門で研究開発が進められている第4世代モバイル通信技術を含む有無線統合ネットワークの研究開発や情報通信技術の国際的な連携推進にも指導的役割を果たすことが期待されている。

<連絡先>

企画部広報室 吉本繁壽 Tel:042-327-6683
(オープンラボ関連)
情報通信部門けいはんな情報通信融合研究センター
中山治人 Tel:0774-95-2401

図1

産学官連携のためのオープンラボ

関西文化学術研究都市

○ CRLけいはんな情報通信融合

研究センター

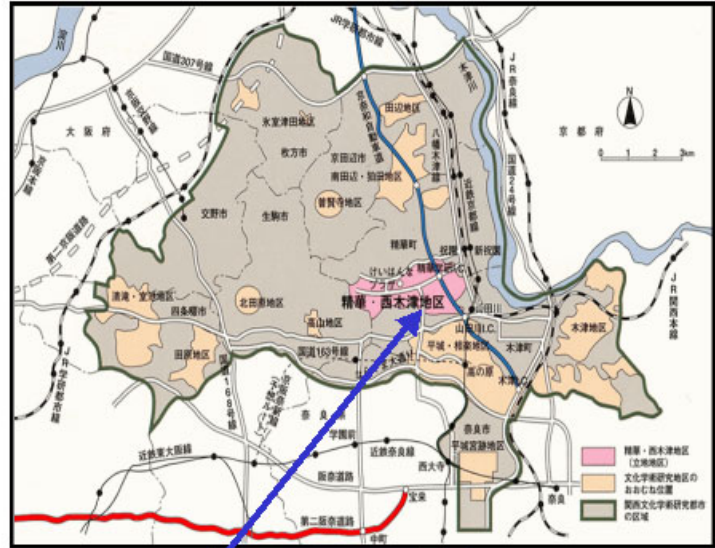
人に優しい情報通信技術について研究開発を実施

- ・自然言語処理
- ・ユニバーサル端末
- ・高精細画像 など

● 産学官連携のためのオープン

ラボ (新設)

- ・高機能ネットワーク技術の研究環境整備
- ・大学、メーカ、ベンチャー企業等の研究機関に開放
- ・専門家の育成等を併せた人材の育成
- ・CRLの得意分野の技術を導入
 - ◇ 高精細画像研究設備
 - ◇ ネットワーク設備



オープンラボは、上図で精華・西木津地区の(けいはんなプラザ)近くに設置予定

図2

産学官連携のためのオープンラボの目的と機能

産学官が連携した地域のIT研究開発を推進するため、研究開発環境を備えたオープンラボを通信総合研究所(けいはんな)に整備。

高機能ネットワーク技術の研究環境を備えたオープンラボ(研究開発拠点)を通信総合研究所に整備し、大学、通信・放送事業者、メーカ、研究機関、ベンチャー企業、地方自治体等に開放し、研究開発を行うと共に、専門家の育成等を併せた人材の育成等にも寄与する。

